

サイバーセキュリティの取組 開催報告

近年マルウェアによる個人や企業情報の抜き取り、プログラム書き換え、国家機密をも狙うサイバー攻撃が行われています。これらのリスク軽減のためには、システム開発段階から脆弱性等の検証・評価が不可欠ですが、加えてサイバーセキュリティ人材育成が重要と考えられています。

そこで、当局が取り組むセキュリティ人材育成についてご紹介いたします。

1. セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄は、次世代を担う若年層への情報セキュリティに関する高度な技術教育を実施し、人材を発掘・育成することを目的に開催しています。今年度は、学生が12名参加し、令和元年12月7日に国際電子ビジネス専門学校にて、サイバーセキュリティの基礎座学とグループワーク（実機演習）を織り交ぜた専門講座が行われました。

本講座は、当局も参加するセキュリティ・キャンプ実施協議会、一般社団法人セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、一般社団法人沖縄ITイノベーション戦略センター（ISCO）が協力して、平成16年度から毎年度1回開催しています。



セキュリティ・ミニキャンプへの参加者



セキュリティ・ミニキャンプの実施風景

2. Hardening Project

Hardening Project は、『最高の「衛る」技術を持つトップエンジニアを発掘・顕彰』を目的としたセキュリティ堅牢化の競技会で、平成24年に始まり、今回の第15回大会は令和2年1月24日～25日に万国津梁館（名護市）にて開催され、全国から150人が参加しました。

1日目のHardening Dayでは、競技者を9チームに分け、8時間のサイバー攻撃によるシステム不具合等の被害を最小化し、商品調達に対応しながら、ショッピングサイトの売上を最大化すべく、チームワークを生かした戦いが繰り広げられました。

2日目のSoftening Dayでは、全参加チームから競技を通じた気づき、学びを振り返るプレゼンが行われ、また、攻撃担当チームから具体的な攻撃内容や対処方法の説明が行われました。優勝は「シーサー9」チームであり、表彰状及び景品が手渡されました。

本大会では、記念すべきサミット会場で、現場で起こる驚異に対して仲間と共に連携して立ち向かうための「HARDENING 宣言」を行いました。皆様方も是非ご参加ください。

※「HARDENING 宣言」の詳細：<https://wasforum.jp/2020/01/hardening-manifesto/>

当局としても、沖縄がサイバーセキュリティなど高度IT人材育成の拠点とすべく、今後とも取り組んでまいります。



Hardening 2020 BO 競技風景



Hardening 2020 BO 各チームの成績発表